

### ■ ①偉大な事実

- 預言の事実
- 聖書の事実
- 歴史の事実
- キリストの事実

イエスキリストが、自ら蘇られた。明確に「わたしは蘇りです。わたしは命です。」と宣言された。これこそ偉大な事実です。

### ■ ②偉大な力～死んでも生きる～

死ぬということは、終わり？死ぬということは、新しいことの始まり。死ぬということは、裁きです。イエスキリストは、嘘がありません。と同時にイエスキリストは、「死んでも生きる。」と言われた。

### ■ ヤマモトさんの証し

山口県出身で、アメリカで一攫千金を夢見て、農場を経営し、ホテルまで経営するようになった。結婚すると、財産の半分が奥さんへ行くので、結婚もしなかった。そういう誤りで巨万の富もっていた。ところが、ある日、お友だちから誘われて、ちょっとぐらい遊んでもいいじゃないか、ちょっとぐらい飲んでもいいじゃないかと促され、ヤマモトさんは、飲み始めた。その後、憑りつかれたように飲み始めた、なんと3ヶ月でアルコール中毒になってしまった。時あたかも第2次世界大戦、アルコールは発売禁止になったため、工業用メチルアルコールに手を出してしまったため、失明してしまった。そんな時にいい人ぶった人が、ヤマモトさんに近寄り、面倒を見てあげるから、ここにサインしなさいと。言われるままにサインすると、その書類は、「譲渡」「あげる」という書類だった。財産をすべて失ったヤマモトさんが、身を乗り出して自殺しようとした。ところが、身を乗り出した瞬間にドアから

牧師「ヤマモトさん」

ヤマモト「誰ですか？」

牧師「教会の牧師です。」

ヤマモト「私は、教会へ行ったことは、ありません。」

牧師「教会の方々、ヤマモトさんのことを聞いてお料理を届けてくれと依頼があったので、届けてにきました。」

ヤマモト「3日間、なにも食べてなかったの、まあ食べてからでも、死ぬかと思ひ、ドアを開けた。」

牧師「ヤマモトさん、どうか皆さんが心こめて作った料理を食べて下さい。わずかですが、このお金もどうぞお使い下さい。」

しばらくして、また身を乗り出そうとしたとき、また、ドアから「ヤマモトさん、牧師です。」

2度あることは、3度ある。3度目、まさに身を乗り出そうとした瞬間

牧師「ヤマモトさん、ドンドン」しばらく返事をしなかった。強くノックされた。「ヤマモトさん開けて下さい。」やがって惹かれるようにして、ヤマモトさんがドアを開けました。ヤマモトさんは、目に涙をいっぱいためてました。

ヤマモト「先生、先生がここにこれられたのが、3度目、ところが、1度目も2度目も3度目も、同じなんです。もうたまたまなくなった自分が自殺しようと思って身を乗り出したその瞬間にドアがノックがあったんですよ。先生どっかで見ていて今だと思って合わせてドアのノックをしたんですか？」その言葉を聞いて牧師先生がびっくりした。

牧師「あなたの知らない誠の神様は、あなたを見ています。あなたが、どんな心で、どんな行動をするか、わかっています。だから前もって教会の婦人会の方に親切な心を与え、お料理を作り、そして私が、車を運転してあなたのところへ間に合うように、神様は、計算づくめで、行動させている。それでもあなたは、誠の神様は、わかりませんか？」と言ったときにヤマモト「わかりました。私はそのような神様をしりませんでした。わかりました。これでクリスチャンになります。」それからヤマモトさんの生活が変わります。マッサージを施す職を身につけて、治療をはじめました。お客様がくると、いろんな牧師先生の話や施術中に聞いてもらい施術したお客様に伝道し、治療初めて15年間で、35名くらいの方が、ヤマモトさんを通してクリスチャンになった。山本さんが、体験された奇跡、神様は私たちに様々な方法を用いて新しい命を得させるよ

うにしてください。死んでも生きる。まさにそのようにして、彼の人生を造り変えた人にできない事を、神様はイエスキリストをとってその十字架と復活を通して、新しい命を、新しい力を注いで下さった。なんとこのキリストのよみがえりは、偉大な力では、ありませんか。

### ■ ③偉大な救い

ヨハネ 11：25～26 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる物は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。この事を信じますか。」

一つの方程式ができます。人間は、2度生まれ変わらなければなりません。なぜ、一回目は、両親を通して、私たちの体が誕生する。もう一つは、イエスキリストを通して、イエスキリストの救いをいただくことを、新しく生まれ変わるという。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」第2コリント5：17

新しく造り変えられた者とは、昆虫で例えるならば、青虫、毛虫が、蝶になる。とういうことが、新しく生まれ変わるとういうことなんです。その毛虫が成虫になると、蝶になるのです。そのように嫌われ者の人間は、みんなから、好まれる、好かれる人に造り変えられる。そんなことができるなら、是非してもらいたいとおもいません。まさにそれが、「救い」というのです。「主イエスキリストを信じなさい。そうすればあなたも、あなたの家族も救われます。」「救い」というのは、あなたの過去のすべての罪が許されます。ということ。す。

### ■ 「神の子の特権を与えられた」

今までは、悪魔の子、罪の子、今私たちが造り変えて神の子にしてください。驚くべきこれは、私たちの家族の回復であります。地獄から私たちを、永遠の神の家族に迎え入れていただける。「あなたは、愛されるたまに生まれきた。」という韓国の方の歌があります。イエス様が、私たちのために命を捨てて、愛を表してください。そして私たちが、みな神の家族に迎え入れてください。

ローマ8：28 「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。」

■ 「イエスキリストの十字架と復活」 私たちに新しい命を与えてくださる。この新しい命は、天国に行く命とも言われています。○両親からもらった命は＝ブスケ

○イエスキリストからもらった命＝ゾーエ

イエス様からあたえられた復活の命は、ゾーエ！！まさに私たちが、死を乗り越えさせる命。エヴァラステイングライフ「限らない命」つまり「神様の与えられる命」イエスキリストを信じ、受け入れることによってイエスキリストの十字架で、死んで3日によみがえったというこの大なる「事実」を大なる「力」であるとともに、大なる「救い」です。罪を許し、私たちが神の家族とし、そして限らない神の命を与えてくださるそしてこの神の命は、いつから始まるのか私たちが、この世で死んで天国に行ってから始まるのか、ところがそうではありません。あなたが今生きて信じるならば、あなたは、永遠に死ぬことはない。すなわち2度生まれ変わったという肉体の誕生と魂の誕生を経験した人は、肉体として1回死ねばいい。永遠の死は、いらぬ。ところが、1回しか生まれなかったことがない人は、2度死ななければならぬ。なぜならば肉体の死とともに、永遠の死を迎えなければならぬ。この神様が与えてくださった命を自分の者にするためにはっきりとイエスキリストの十字架を自分のための身代わりとしイエスキリストの復活が私たちの保証であることを、受け入れていく。贈り物を受け取るように。イエス様が、永遠の命、限らない命を与えてくださることを受け取ってこう。